



季節を知ったら
暮らしが楽しくなった

（第一六五号）

霜降そうこう

十月二三日

内宮遷御の儀

神さまを新宮にお遷しする伊勢神宮遷御せんぎょの儀が行われました。神域に設けられた奉拜席ほうはいで直に見守った方、テレビ番組をご覧になった方がいらっしゃるかと思いますが、私は内宮遷御の十月二日はインターネット動画配信の司会を仰せつかり、神宮司庁の一室の放送席からモニター画面を通じて見せていただきました。内宮神域の各所に配置された公式カメラが映し出す映像はそのときどきの様子をリアルに見せてくれました。

とくに今回は、浄闇じょうあんという清らかな闇の中の儀式を、テレビでは最新技術の超高度度カメラによって、肉眼ではとても見えない御神体を囲う白い布の「絹垣きんがき」が映しだされました。新聞などにもカメラの感度をあげて撮影した、まるで昼間のように明るい写真が掲載されました。本来見えないものが見える、これも時代なのでしょう。

放送では神社本庁の方が解説をしてくれました。神宮にも奉職ほうしやくされた神職さんですが、神さまが現在の御正殿ごしょうでんを出られる午後八時の出御しゅつぎょのとき、そつと頭を下げられました。この所作を自然にされたことが隣の席の私にはわかりました。神に仕える神職の矜持きやうぢを見たように思いました。

内宮の遷御の日は、十月としては異例の三十℃を超え、夜になってもなかなか涼しくならず、酷暑の今夏を思わせました。放送を終えた午後九時頃だったでしょうか。神宮司庁から外に出て、皆で新宮のある東を向いて遙拝しました。月のない空にはいつの間にか星が輝いていました。

動画配信は十一月三日まで、伊勢神宮式年遷宮広報本部のHPでご覧になります。

<http://www.sengu.info/index.html>

文 千種清美

